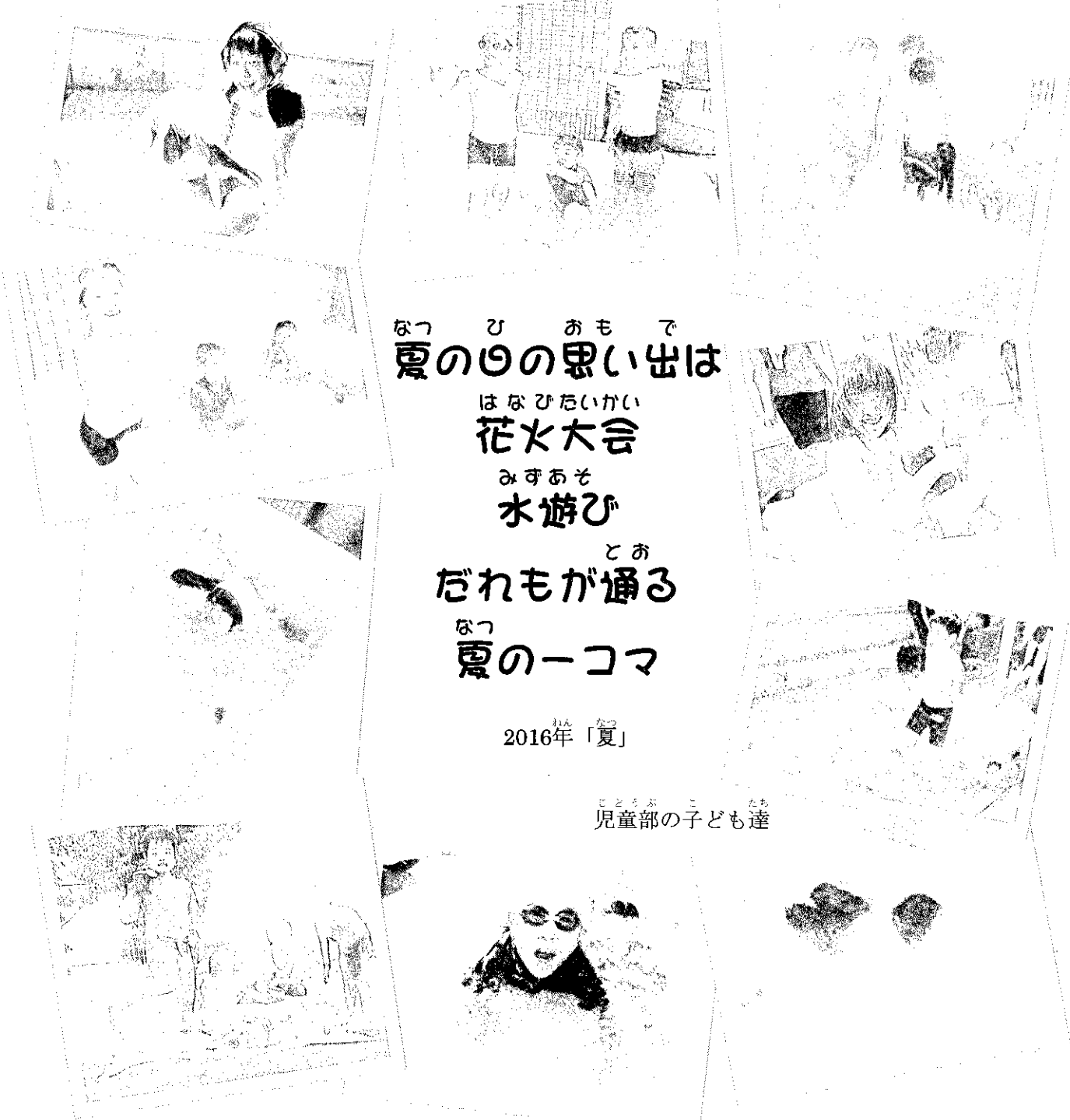


KSKP ポポロ通信

2016.9 VOL.2

編集/社会福祉法人ポポロの会
〒581-0856 大阪府八尾市水越2-81
理事長 樋渡 輝子
TEL 072-940-3321 FAX 072-940-3322
Mail office@popolo.or.jp
HP <http://www.popolo.or.jp>



なつ ひ おも で
夏の日の思い出は

はなびたいかい
花火大会

みずあそび
水遊び

とお
だれもが通る

なつ
夏のーコマ

2016年「夏」

こどもたち
児童部の子ども達

2016年8月20日 第三種郵便物認可 毎月1・2・3・4・5・6・7・8の日に発行

P1夏の日の思い出 2016夏、P2生活介護 (個別レクリエーション)、P3自立訓練 (作業の様子)、P4児童部 (夏休みの活動)、P5後援会 (ご入会の御礼)、P6後援会 (ご案内)、P7グループホーム建設資金へご協力のお願い、P8社会福祉法人への寄付について、P9障がいを持つ方々の安心・安全な暮らしを求めて行くとき!、P10グループホーム (外出レクリエーション)、P11就労B型 (課外活動)、P12明日につなげる委員会 (防災管理委員会)・編集後記

【生活支援事業部】

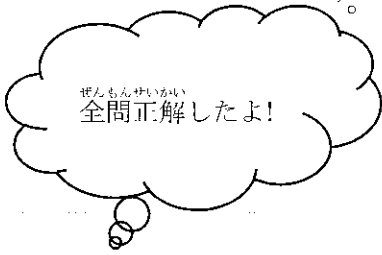


生活介護事業 里の風

個別レクで六月十八日、明治ヨーグルト館へ工場見学に行つて来ました。工場建屋内に案内されると、普段スーパーやコンビニでよく見る商品が展示されており、慣れ親しんだ商品の前に親近感を覚えました。部屋には、私たちが以外にも沢山の見学の方々がおられ、モニターを前にヨーグルトに関するクイズに・・・

挑戦。事前に見たビデオのお蔭で全問正解の方が沢山おられました。クイズが終了しお待ちかねの製造ラインの見学です。

引率の方々に導かれ、製造

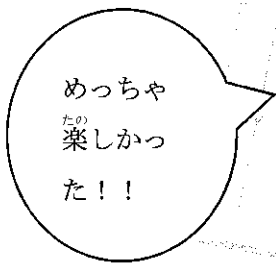
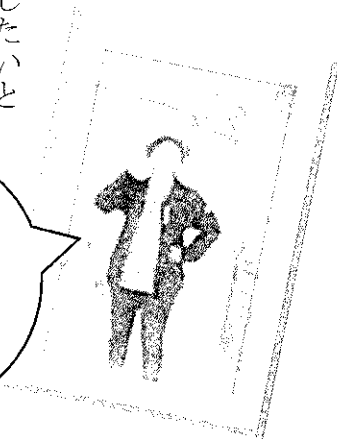


行程の説明を受けました。

ヨーグルトは乳を乳酸菌で発酵させたもので乳酸菌の働きで爽やかでおいしいヨーグルトが出来た事を学びました。他にも、固形タイプとドリンクタイプの製造ラインがあつて、全てオートメーション化されていて、工場内に人が少ない事に驚きました。見学の最後には全員にドリンクのプレゼント

もあつて、たのしい見学になりました。普段何気なく食べている食べ物や飲み物の工場見学を是非企画したいと思つた次第です。

次回は、十月に予定 皆さんお楽しみに。



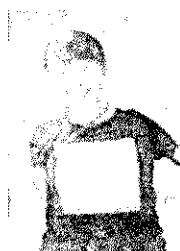
職員紹介



河野 ヒトミ



有利 二保



梶谷 友香



清水 佐知子



内山 朋子

【自立訓練 (生活訓練) 事業部】

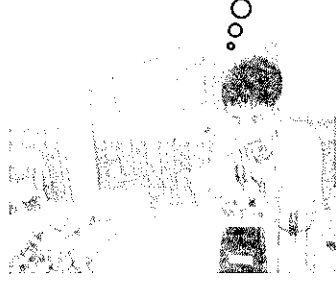
❀まなび舎ぽぽろ❀

まなび舎の就労活動では、収穫した野菜の商品化・広報・野菜販売を主に取り組んでいます。季節の移り変わりとともに採れる野菜も違い、また、利用者さんの作業内容も変わるので、その変化を楽しんでいます。現在は、野菜の商品化・販売準備・野菜運搬等の作業に慣れ、利用者さんの動きも円滑になりつつあると実感しております。

商品化の様子

◆4月◆

イチゴ



キレイで甘くて美味しそ～なイチゴを選別します。(熟しすぎたイチゴはジャム用となります)そして、重さを量りながら、1粒ずつの大きさを調整してパックに詰めていきます。ラップをかけて冷やすと出来上がり★ 部屋中が甘い香りになり、快い気分になります。

◆5月◆

たまねぎ (葉たまねぎ)



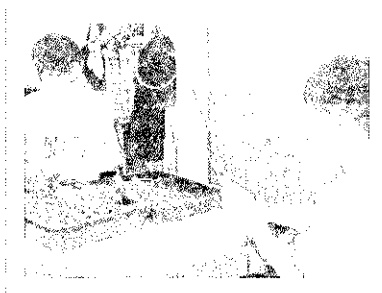
ハサミで根と青ネギ部分を切り、2、3個ずつをヒモで縛ります。風通しの良い場所に干し、1～2日放置して乾燥させます。重さを量りながら袋に入れ、機械でテープ止めをすると出来上がり★ 部屋中がたまねぎの匂い…暫く続きます(+_+)

◆6月◆7月◆

ジャガイモ・枝豆



大きさの大・中・小に分け、芽の有無や変色等をチェックして重さを量りつつ袋に入れていき、機械でテープ止めをすると出来上がり★ なすびやキュウリもこのようにして6月に商品化。枝豆は選別することが大変だったのですが、皆で頑張りました。



【児童発達支援事業部】

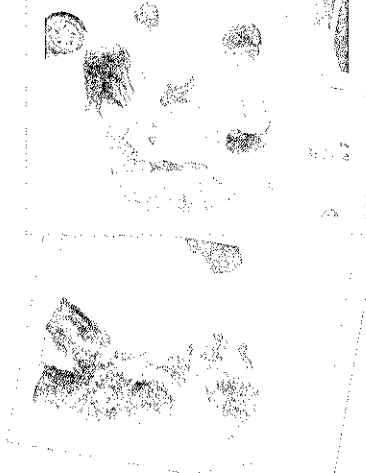
放課後等デイサービス

どれみ・かのん・タクト

毎日暑い日が続きますが、皆様はいかがが
過ごしてでしょうか？ 子ども達には待ちに
待った夏休みです☆ どれみ・かのん・タク
トの子ども達にも楽しい夏休みの思い出作り
として様々なイベントに取り組みました。

暑い日には水遊びを！ ゴーグルにスイミ
ングキャップをかぶり、みんなは気分十分で
す！

子ども達同士で水をかけあい、潜ってみたり、
バタ足をしたり…と本当に楽しそうでした。
子ども達の無邪気な笑顔に、職員も元気をも
りました！



7月18日(月) 【どれみ遠足】

キッズプラザ大阪へ行ってきました。みんな
でしおりを確認して出発！ お昼ご飯はガス
トで食べました。「なにを食へようかな」と悩む子
ども達♪ それぞれ好きな物を選び美味しく食
べました。

お腹もいっぱいになりキッズプラザ大阪へ！
大きなアスレチックや季節を感じる昆虫や
草花の観察、職業体験コーナー、また車椅子の
体験をした児童もいました。 子ども達は目を
輝かせて楽しんでいました☆

普段出来ない体験をし、良い思い出になったの
ではないかなと思います。



お知らせ

発達障がいに関する学習会

どなたでも自由に参加できます。

《日時》平成28年 9月 15日(木) 19時〜
事例「小学校高学年、愛着に課題の
ある子への支援」

《場所》八尾プリズムホール 4階研修室

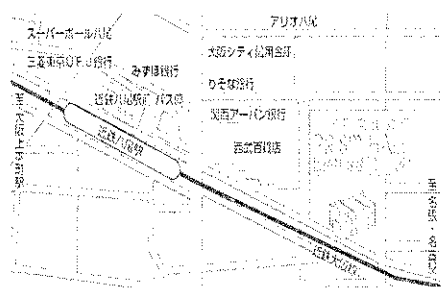
《費用》参加費無料・資料代500円

《主催》発達障がいの会・八尾／
社会福祉法人ポポロの会

《お問い合わせ》ポポロの会 里の風

Tel 072-940-3321
Fax 072-940-3322

※申し込み不要
直接会場へ



ポポロの会後援会 会員
ご入会のお礼

謹啓 涼風の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、このたびは格別のご高配によりポポロの会後援会の賛助会員にご入会いただきまして、厚く御礼申し上げます。

弊会は、どんなに重い障がいがあっても、住みなれた地域で安心して生活を送ることができる仕組み作りを目指しているポポロの会の理念に賛同し発足いたしました。

今後のポポロの会の計画としては、グループホームや就労支援の場の創設、里の風の補修工事などを予定しており、どの事業も皆様のお力添え無しでは、成し遂げることが難しい事業です。

会員の皆様へは、ポポロの会の通信及び各種の通知により最新の情報をお届けするとともに、各種イベント、講演会等その他の催し事のお知らせをさせていただきます。

つきましては、なにとぞ末長くご支援賜りますようお願い申し上げます。

まずは取り急ぎ書中をもって、ご入会御礼のご挨拶とさせていただきます。

敬具

こうえんかいかいひごうけい
後援会会費合計*****¥559,500

がつかつじつげんざいしやうけいふん
8月末日現在集計分

へいせい ねん がつかちじつ
平成28年9月吉日

しゃかいふくしほうじん かいこうえんかい
社会福祉法人ポポロの会後援会
かいちやう あらさき くにひろ
会長 新崎 国広



ねんかいひ
1、年会費

- ① 個人会員 年会費 一口 2,500円
 ② 団体会員 年会費 一口 10,000円
- ※ 複数口の会費についても拝受させていただきます。

ねんかいひ しほらいほうほう
2、年会費の支払方法

ゆうちょ銀行 口座番号 00900-0-309215
 口座名義 社会福祉法人ポポロの会 後援会

※ 同封しております指定の振込用紙にてお支払いいただきますようお願いいたします。
 ※ 手数料は不要です。

きにゆうれい 記入例
 1・2・3・4には必要事項を記入下さい。

◆ お問い合わせ先 ◆

社会福祉法人ポポロの会 後援会 (法人事務局内) TEL : 072-940-3321
 社会福祉法人ポポロの会 後援会 会長 新崎 国広

しょう しゃ けんせつしきん
障がい者グループホーム建設資金
きふ きょうりやく ねが
— ご寄付・ご協力のお願い —

しょうかい ふくしほうじん ポポロの会 (以下、当法人) は、しょうがい者の労働の働く場をつくることを目的とし、1986年から障がい者作業所を中心とする日中活動支援を実施し、2003年に法人格を取得しました。

法人となってから12年間、八尾の水越を拠点に、地域の中で当たり前前の生活を営むことができる社会の実現を目指して、芸術活動や農業、菓子製造や清掃活動を通じた自立支援、日中活動支援及び相談支援や身体介護、就労支援、グループホームの創設、発達障がい児支援などの取り組みを行なっています。



おも しょう
どんなに重い障がいがあっても
す な ちいき く
住み慣れた地域で暮らしたい

こうれいか ともな しょう じゅうどか たいおう もと こんにち しょうぼうほう かいせい
高齢化や、それに伴う障がい重度化への対応が求められる今日、消防法の改正により、障がい者グループホームを巡る環境は、ますます厳しくなりました。

既存のグループホームにおいては平成30年4月までに、消防法(屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、消防機関へ通報する火災報知設備、非常警報設備、避難器具の設置など)に対応した運営が求められています。現在、当法人では、障害者総合支援法におけるグループホームの事業を八尾市内5箇所で行なっておりますが、民間の賃貸住宅では、消防法への対応が難しく、グループホーム事業の継続が困難な状況となっております。

その事態を克服する為、当法人としましては、自前でのグループホーム創りを目指すことと致しました。現在、当事者・ご家族・職員等が一丸となって計画を進めております。

つきましては、当法人の考え方、事業にご協力・ご支援をしていただける皆様からの寄付金を受け付けております。寄付金はグループホーム開設資金及び福祉事業の展開、推進のために有意義に活用させていただきます。

多くの皆様方のご支援とご援助を心からお願い申し上げます。

しょうかいふくしほうじん かい
社会福祉法人ポポロの会
りじちょう ひわたくし てるこ
理事長 樋渡 輝子

しゃかいふくしほうじん きふ 社会福祉法人への寄付について

ポポロの会へのご寄付については、
寄付金控除等、税制上の優遇措置が受けられます。

■ 個人のご寄付

従来の総所得金額の合計額からの控除(所得控除)と、寄附金特別控除(税額控除)のいずれか有利な方を選んでいただくことができます。

□ 所得控除の場合 < 所得の減額ができます >

寄附金の合計額(注1)から2,000円を差し引いた金額を、寄付をした方のその年分の総所得金額の合計額から控除することができます。

□ 税額控除の場合 < 税金そのものが減額されます >

寄附金の合計額(注1)から2,000円を差し引いた金額の40%(注2)を、寄付をした方のその年分の所得税額から控除することができます。

注1: 寄附金の合計額が総所得金額の40%を超える場合は、総所得金額の40%が上限

注2: 控除する金額がその年分の所得税額の25%を超える場合は、所得税額の25%が上限

お振込先

大阪シティ信用金庫 山本支店
シャカイクシホウジン ポポロノカイ
社会福祉法人ポポロの会

普通預金 4302452
リジチョウ ヒワタシ テルコ
理事長 樋渡 輝子

■ お手続きについて

お振込み後、メールか電話にて寄付お振込みの旨とお名前、ご住所をご連絡ください。

寄付控除に必要な領収書をお送りいたします。寄付先のご指定がある場合はその旨もお申し付けください。お手数料をおかけいたしますがご協力のほど、お願い申し上げます。

-お問い合わせ-

〒581-0856 八尾市水越2-81 社会福祉法人ポポロの会 法人事務局

TEL 072-940-3321 FAX 072-940-3322

ホームページ <http://www.popolo.or.jp> メールアドレス office@popolo.or.jp

【障がいを持つ方々の安心・安全な暮らしを求めて行くとき!?!】

消防法改正による

グループホームへの影響

消防法改正により、障がい者グループホームを巡る環境は厳しくなっています。

現在、ポポロの会では、障害者総合支援法における共同生活援助事業グループホームの事業を八尾市内5箇所で行なっております。中でも、民間の賃貸住宅では、消防法に対応が難しく、住み続ける事が困難な状況となります。

既存施設においては平成30年4月までに(新設は平成27年4月から)消防法に対応した運営が求められています。現在は、自前でのホーム創りを、当事者・ご家族・職員等が一丸となつてすすめております。

① スプリングクラー設備の設置基準の見直し

火災発生時に自力で避難することが困難な社会福祉施設等において、延べ面積275平方メートル以上のものに設置が義務付けられていたスプリングクラー設備について、原則として延べ面積に関わらず設置することが義務付けられました。

なお、例外として、火災発生時の延焼を抑制する機能を備える構造を有する施設は設置不要です。また、介助がなければ避難できない利用者が多数を占めない障がい者施設等は、従前どおり延べ面積275平方メートル以上で設置が必要です。

② 自動火災報知設備の設置基準の見直し

社会福祉施設等で利用者を入居させ、又は宿泊させるものに対して、延べ面積300平方メートル以上のものに設置が義務付けられていた自動火災報知設備について、延べ面積に関わらず設置することが義務付けられました。

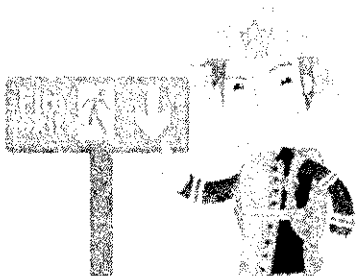
③ 消防機関へ通報する火災報知設備(火災通報装置)に関する基準の見直し

自力で避難することが困難な方が入所する社会福祉施設等における消防機関へ通報する火災報知設備について、自動火災報知設備の感知器の作動と連動して自動的に起動することが義務付けられました。

経過措置

屋内消火栓設備、スプリングクラー設備、自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、消防機関へ通報する火災報知設備、非常警報設備、避難器具

平成30年3月31日まで



【地域生活支援事業部】

共同生活援助事業

『関西国際空港見学ツアー・レクリエーション』

7月24日(日)、グループホームを利用していらっしゃる方の中から参加者を募り、関西国際

空港へ行きました。一週間前の雨予報も、皆

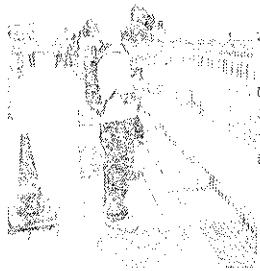
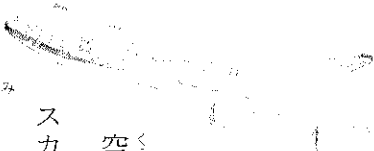
の頃頃の行いのおかげで、な

んとか晴れました。空港に着いて、まず向かった先は

スカイビュー。一面に広がる景色を見て「いやー、気持ちいいですねー」

の声が上がったり、パンフレットを見ながら「あれはどこ

と、熱心に調べたりしました。



室内では飛行機に関する展示物に、皆興味津々。飛行機の操縦体験をしてパイロット気分も味わって、飛行機の世界を存分に堪能しました。



午後からは、お待ちかねの見学ツアーに参加しました。バスに乗りガイドさんの案内のもと、管制塔や燃料タンク、機内食工場や

巨大ソーラーパネル近辺など、通常では立ち入れない場所も周り、貴重な体験となりました。

次回のレクリエーションも実りのあるもの

となりますように……。

『グループホーム 8月の様子』

8月になり、夏らしいイベントに出会う機会も多くなりました。グループホームでは、

府営住宅から、利用者の方と一緒に教祖祭のPL花火を見ることができました。

これからも、体調に気を付けて、夏を満喫できる

よう一緒に頑張ります！



レクリエーションに参加して下さった皆様、お疲れさまでした！

【就労支援事業部】

しゅらうしえんじぎょうぶ
しゅらうけいぞくしえんじがたじぎょう
就労継続支援B型事業

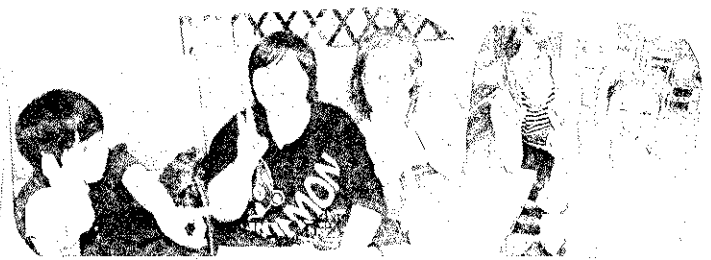
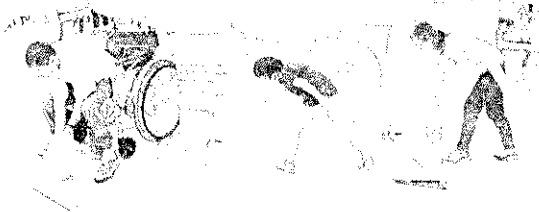
ラボロ

ボウリング大会

第3回ラボロボウリング大会を行いました！久しぶりのボウリングでしたが、ストライクやスペアなどハイスコアの連続でした！2ゲームすると、腕がパンパンになりましたが、とても楽しく運動することが出来ました。体を動かした後は、お昼ごはんを食べに行きました！表彰式も行い、楽しい1日を過ごすことが出来ました。



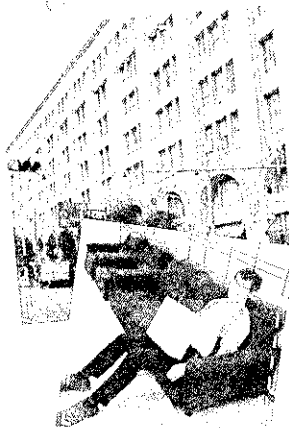
たおれるかな～



メダル付きお菓子で表彰式 おつかれさまでした

就労支援推進事業

「働く」ことについて、勉強をしたり、企業への見学や実習を行います。前回は、高島屋にてマナー講座を受けました。また、一般就労をされた方のお話を聞いたり、「働く」ことについて色々なことを学んでいます。8月末の企業実習へ向けて、参加されているメンバーさんもやる気いっぱい挑戦中です！





防災管理委員会

「避難訓練を実施しました。」

6月24日、里の風で避難訓練を行いました。今回は、レストランから火災が発生した時を想定して実施しました。10時30分レストランの職員から「火事だー」の声

が上がり利用者さんにも・職員にも一気にピーンと緊張が走ったようです。各部署の火元責任者が消火器を持ってレストランへ駆けつけ初期消火に

当たるも消火失敗：皆さん外に避難することに！訓練といえども火事という言葉で怖くなり動けなくなった利用者さんもありましたが、そこは口頃一緒に活動している職員がお見通しとばかりに車椅子を用意したりと迅速な対応で避難するこ

とが出来ました。今回から新しく託児所バンビの子どもたちも参加しました。初めての防災訓練でしたが泣くこともなく無事に避難出来ました。職員も利用者さんも転倒や怪我をされることなく無事に避難することが出来ました。

避難訓練の後で利用者さん・職員に感想を聞きました。何度も訓練に参加されている人も多く回数を重ねることに自信がついてきておられるようでした。また、地震を想定した避難訓練をしてほ

しいという意見が沢山見られました。阪神淡路大震災・東日本大震災や最近では熊本大地震を目の当たりにされているため地震に対する関心が高いようです。皆さんの貴重な意見を参考に今後とも災害が起きた時に少しでも安全に避難できるように色々な想定をして避難訓練を実施していきたいと思えます。

避難訓練後の6月28日に、新入職員等を対象に施設の防災設備の確認と消火器の使用訓練を実施しました。普段通っている場所に設置されている防火設備などを改めて確認することで「こんなところに設備があったんだ……」と言った声が聞かれました。また、消火器使用訓練も初めて消

火器を使ったという職員も多く防災へ向けて非常に有意義な訓練になったのではないのでしょうか。地震は天災で予防することは難しいですが、火災などの災害は私たちの日頃の心がけ次第で予防

できるものです。今後も、避難訓練などを通じて、そういった意識を皆で持てるように尽力していきたいと思えます。



編集後記

真夏日が続き、外に出るのが憂鬱になる日々です。しかし、青く澄みきつた空を見るのは気持ちがいいですね。そんな空を見ていると故郷の事をふと思いつきます。私の故郷、熊本では、4月14日、16日に地震が発生しました。余震の数を含め、千回以上の揺れを観測。「地震におびえる日々が続いた」とたくさんさんの知人から聞きました。まさか、自分の故郷が地震にあうとは……

。熊本城の外壁は崩れ落ち、陥没した道路、倒壊した住宅など普段の街並みはガラリと変わってしまいました。そんな地震から5ヶ月あまり、たくさんの方々のおかげで、少しずつ復興している街並み、にぎわいを取り戻しつつある観光地。復興にはまだ時間がかかりそうですが、少しでも早く以前の

ような街並み、たくさんさんの人の笑顔がもどることを祈っています。



大阪府八尾市水越2-8-1 社会福祉法人ポポロの会 TEL 072-940-3321 FAX 072-940-3322 Mail : office@popolo.or.jp